

一般競技の部

高山リーグ 2012

高山リーグ 2012 を無事終えることができました。新たに 2 チームが参加し、バスケットボールを楽しむ仲間が増えました。年齢に負けず現役を続けてみえる選手も多くいて、バスケットボールを愛する人の多さを感じます。また、若い選手の新規登録もあり、年齢に関係のない交流があることもこのリーグのよさだと思います。今後も、いつまでもバスケットボールを楽しめる場を作り続けられるよう努力していきます。

高山クラブは、予選リーグでの雪辱を決勝トーナメントで果たし、優勝しました。最後まで見逃せないところもこの大会のおもしろいところです。

大会結果

高山リーグ 2013

- 優勝 高山クラブ
- 準優勝 ROMPS
- 3位 Bloods

ROMPS と高山クラブ (男女) は、岐阜県バスケットボールクラブ連盟にも登録しています。県大会でも活躍を期待しています。

詳しい結果については、次の URL へ
<http://www.tabba.jp/ippan/index.html>



県大会の結果は、岐阜県バスケットボールクラブ連盟の HP まで
<http://gifubasketball.com/club/>

ミニ競技の部

以下の URL から高山ミニバスケットボールクラブの県大会での結果を知ることができます。

岐阜県ミニバスケットボール連盟 HP
<http://gifubasketball.com/mini/>

高山ミニバスケットボールクラブ女子の詳しい活動の様子は下記の URL へ
<http://tmbbc.web.fc2.com/>

編集後記

サッカーの話になりますが、イングランド・プレミアリーグで香川真司選手が活躍しています。昨年のブンデスリーガ2連覇と合わせて、リーグ 3 連覇を達成しました。数々のビッグタイトルを手に入れただけでなく、アジア人初となるハットトリックも達成しました。しかし、かつては彼よりも将来が期待され、天才と言われていた選手がいました。その選手は現在 J リーグでプレーしていますが、香川

との違いは謙虚さだったそうです。そういえば、先日引退した野球の松井選手は、「努力する天才」と言われていました。自分の弱さを受け止め、克服しようと努力できることの大切さを感じます。広報誌で紹介させていただいた活躍も、きっと努力があって得られたものだと思います。心はすべてを支える土台なんだと、つくづく感じさせられます。(J.N)

広報誌

2013-04号 (No.008)

TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION

飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!

編集・発行：高山市バスケットボール協会 広報委員会

<http://tabba.jp>



小学生への普及活動

昨年の国体で、高山市はバスケットボールの会場でした。多くの市民のみなさんにバスケットボールに親しんでいただけたことと思います。また、高山市が一体となって、国体を盛り上げることができました。そんな高山ですので、高山といえば「バスケットの町」だと言われたいという願いをもって取り組んでいます。

例年 12 月に行っている小学生バスケットボール大会は、参加チーム数が年々増えています。昨年行われた大会には、30 チームを超える参加希望があり、過去最高の参加数となりました。この大会に参加したことをきっかけに、中学校でバスケットボール部に入部する子もいて、普及活動の場として位置づいてきました。また、バスケットボール教室を開いて 4 年になりますが、誰でもこの時間にこればバスケットを楽しむことができる、またバスケットを愛する人たちが子どもたちを指導してくれるなど、地域に根付い

た活動となってきました。現在は、1 年生から 6 年生までの男女合わせて 50 名ほどの児童が汗を流し、一生懸命練習しています。参加している児童の中には「もっと試合がしたい」「強いチームとやりたい」というような声もあり、高山ミニバスケットボールクラブの子たちと合同練習をすることもできました。今後も、小学生を対象とした普及活動を行っていきます。



平成 24 年度 新人戦 冬季大会

男子の部で松倉中学校が4位、女子の部で中山中学校が優勝しました。どの中学校も夏の中体連に向けて、がんばっています。皆様方の温かいご声援をよろしくお願いします。

詳しい結果については、次の URL へ
<http://gifubasketball.com/jhs/>

「東日本大震災」被災地復興支援 JOC ジュニアオリンピックカップ
 第 26 回都道府県対抗 ジュニアバスケットボール大会 2013

3月28日～30日に行われた第26回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に、以下の選手が岐阜県の代表として参加しました。女子は10数年ぶりとなる予選リーグ突破を果たしました。参加した選手は多くのことを学ぶことができました。

詳しい結果については、次の URL へ
<http://www.japanbasketball.jp/juniorallstar/2013/>

松倉中学校 打江 新

JOCに参加して、どこのチームも強く、良い経験ができました。大会では、強気でシュートまで持ち込んだこともありましたが、弱気になり、逃げたプレーをしてしまったこともありました。選抜のチームはみんなで声を出し、良い雰囲気の中で活動してきました。今後は、選抜に選ばれたことに誇りを持ち、練習や試合で学んだことを生かしてバスケットに取り組んでいきたいと思えます。

中山中学校 垣内 理菜

私は、岐阜県選抜チームのキャプテンを任せられました。チームをまとめるために、チームメートとたくさんコミュニケーションをとり、限られた練習時間の中で頑張りました。今大会は、予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出するという結果を得ることができ、とても嬉しかったです。今まで支えてくださった親さん、チームのみんな、先生やコーチ、岐阜県のみなさんに感謝し、これから、もっとうまくなるように努力していきたいです。

松倉中学校 上野 大樹

全国大会の試合では、予選リーグ1勝1敗で決勝トーナメントにあがることはできなかったのですが思いっきりプレーすることができました。

コーチや仲間、親の支えのおかげで選抜の活動に参加できたことを忘れず、これからは選抜の練習や試合で学んだことを自分のチームの仲間に伝え、高い意識で練習に取り組み、全国大会を狙えるチームになっていきたいです。

中山中学校 山下 裕弓

中学に入学してからバスケットを始めた私が、このような大きな大会に参加できたのは、一緒に練習してきた仲間、熱心に指導して下さった先生方、いつも支えてくれている家族のおかげです。選抜チームの仲間と一生懸命に練習し、その中で私も成長することができました。女子選抜チームは、12年ぶりに決勝トーナメントに進出することができました。このような経験をさせていただき、いろいろな方に感謝の気持ちでいっぱいです。

松倉中学校 洞奥 恒輝

JOCに参加し、全国にはとても上手い人がたくさんいて、僕自身もっと頑張らなくてはいけないということを強く感じました。選抜では思いっきり自分のプレーをして頑張ることが自分の財産になりました。仲間や先生、親の支えがあって活動できたこと感謝し、今後も全力でプレーしていきたいです。

中山中学校 都竹 菜央

私は岐阜県選抜チームの一員として、大会に参加しました。初めは、私なんか選ばれていいのかと不安ばかりでした。しかし、仲間と練習を重ねていくうちに、もっともっとうまくなりたいと強く思うようになりました。選抜チームの練習や大会を通して、自分自身も成長することができ、今は、選ばれたことに本当に感謝しています。選抜チームで学んだことを生かし、これからも頑張ります。感謝の気持ちをプレーで返していきたいです。

岐阜県高等学校新人大会

高山西高等学校女子バスケットボール部が準優勝し、東海大会に出場しました。

大会結果

詳しい結果については、次の URL へ
<http://gifubasketball.com/hs/>

県大会

1回戦	高山西	110-37	本巣松陽
2回戦	高山西	113-59	中津商
ブロック決勝	高山西	55-53	岐阜総合
決勝リーグ	高山西	35-97	岐阜女子
決勝リーグ	高山西	75-38	土岐商
決勝リーグ	高山西	87-67	岐阜農林

東海大会

1回戦	高山西	41-84	星城
-----	-----	-------	----

優秀選手賞

根津 明日香



**高山西高等学校女子バスケットボール部
 キャプテン
 山下 善弓**

私たちは、体づくり等の基礎練習からチームプレーまで、難しいメニューを日々沢山こなしてきました。決して妥協しないことを意識し、仲間同士励まし合ったり、指摘しあったりしながら頑張りました。思い通りのプレーが出来ない等、上手くいかないこともありましたが、練習や練習試合が終わったあとは必ずチームメイトで話し合い、課題を解決して、乗り越えることが出来ました。

岐阜県新人大会では、先輩たちの築いてきた伝統の重みを感じつつ、不安やプレッシャーもありましたが、チーム全員で戦うことが出来ました。今回チームとしては3年振りの準優勝、そして東海大会出場を果たすことができ、本当に嬉しかったです。

東海新人大会1回戦では、愛知の強豪校星城高校と戦い惜しくも敗れてしまいましたが、間近に強豪チームの実力を感じたことが今後の自分たちのバスケットボールに対する考え方、毎日の練習に取り組む意識など、自分たちにはまだ足りないことばかりだと感じました。課題を沢山見つけることが出来たのは、今回東海大会出場したお陰であると思えます。

見つけ出したこの課題を解決し、インターハイ出場を目指し、また、チーム全員で毎日の練習に励んでいきたいと思えます。そして、このチームメイトと一緒にバスケットボールが出来ること、先生方に教えて頂けること、そして保護者や地域の方々に支えられていることに感謝し、思う存分バスケットボール楽しんでいきたいです。